

解答

一

- 問1 ⑩ イ ⑫ イ
問2 A エ B ア D エ
問3 わからない
問4 ア、オ
問5 出井初音
問6 叱られゝ前まで
問7 なんにも取り柄のない空っぽなわたしを、少しのあいだでも満たし、自由にしてくれる存在。
問8 ウ
問9 お父さんもゝ決めていた(という思い込み。)
問10 ア
問11 穴ぼこだらけの大人
問12 あなたの人
問13 グライダーに乗ることを認めて、応援する気持ち。
問14 立派な理由はなく、美風を応援したかったから。
問15 イ
問16 ア

二

- 問1 イ 過去 ロ 未来 ハ 現在
問2 i 肝 ii 手 iii 身
問3 ア
問4 永遠
問5 a イ b エ c オ

三

- (1) ケ (2) キ (3) オ (4) カ (5) ウ (6) ア (7) イ (8) ク

四

- ① うやま ② きょうぶ ③ ぶっかく ④ 済〔ませた〕 ⑤ 縮小 ⑥ 脳裏 ⑦ 秘密
⑧ 調律 ⑨ 優勢

解説

一

- 問7 傍線部の後に着目します。「わたしは、キーボードが」で始まる段落から、どのような存在か読み取れるので、この段落の内容をまとめて書き表します。
問10 傍線部の前にある「伝えたい思いは全部涙に変わって、力なくぼろぼろ落ちてしまう。」という記述から理由がわかり、選択肢アが選べます。

二

- 問3 傍線部の後にある「時間の川を船に乗って移動していると思わなければならない。」という説明から、最もふさわしいものは選択肢アになります。
問4 筆者は本文の最後で、常に動く意識を持てば、いかなる苦勞も永遠ではないと述べていることから、「自分を固定」するとは、「現在」が「永遠」に続くと考えられることであるとわかります。